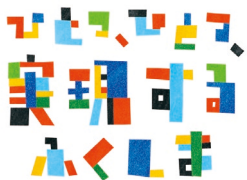


福島県令和5年度当初予算

福島の挑戦「シンカ」予算

予算額 1兆3,382億円
(うち復興・創生分 2,582億円)



福島県の挑戦「シンカ」予算

福島県 令和5年度当初予算
予算額 1兆3,382億円
(うち復興・創生分 2,582億円)

< 総合計画に掲げる将来の姿の実現に向けた一つ一つの挑戦を更に「シンカ」 >

- 喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰への対応
- 防災力の強化、地球温暖化対策、デジタル変革の推進

複合災害からの復興と
福島ならではの地方創生

深化

～よりきめ細かく、より丁寧に～

- ◆ 震災以降悪化したメタボ等の健康指標の改善を目指すキャンペーンなど、オール福島で健康長寿の実現に向けた取組を推進
- ◆ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりに向け、ライフステージに応じた福島ならではの切れ目のない支援を展開
- ◆ 「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、電気自動車や独自基準の省エネ住宅の推進など、県民の理解を深めるため総合的な対策を展開

進化

～これまでの成果を土台に更に前へ～

- ◆ 若年層を中心に企業の魅力への理解を促進するなど、製造業などに向け、喫緊の課題である人材の確保を強力に支援
- ◆ 関係団体と連携して新たな農業の窓口を開設し、新規就農から経営の発展まで一体的な支援を展開
- ◆ 自然災害からの復旧はもとより、「流域治水」や防災アプリの制作など、ハード・ソフト両面から災害に強い県づくりを更に推進

新化

～未来を切り拓く新たな視点で～

- ◆ 「創造的復興の中核拠点」福島国際研究教育機構を核とした広域ネットワーク形成の促進や、国・市町村等と連携した周辺環境整備に向けた取組
- ◆ 水産業に対し、生産から流通、消費に至る新たな支援策を総合的に展開し「ふくしま型漁業」の実現に向けた好循環サイクルを加速
- ◆ 地方移住への関心の高まりを捉え、首都圏等のテレワーカーやテレワーク導入企業を呼び込む「転職なき移住」を推進

真価

ふくしまプライド。